

銘柄分析レポート：卸売業の高収益企業

1 はじめに

下図は、卸売業の中より収益性の高い（売上高営業利益率10%以上）会社を抜き出したものです。

一般論に、メーカーから仕入れた商品を小売業に販売して、利ざやを稼いでいる卸売業の収益性は高くありません。業種全体の売上高営業利益率も3%程度にとどまっています。

しかし、そんな卸売業においても、売上高営業利益率10%オーバーの高収益企業が存在するのです。

売上高営業利益率の高さは、通常、付加価値の高さを意味します。単なる利ざやにとどまらない、特別の付加価値を顧客に提供できれば、収益性を高めることが可能です。

下図では、自社グループ内に製造部門を持っている企業が少なくありません。メーカー機能を有し、顧客ニーズに合った商品を提供できれば、自ずと付加価値も高まります。

それに加えて、価格競争に巻き込まれない（あるいは価格競争を回避できる）何らかの強みを有している必要があります。

下図では、ニッチ分野に特化して、高いシェアを誇っている企業が散見されました。大手企業が参入に二の足を踏むニッチ（隙間）は、業種を問わず、高収益企業の宝庫です。

今回の銘柄分析レポートでは、卸売業の高収益企業から2社を選んで、高収益の秘密を探っていきます。

★卸売業で売上高営業利益率10%以上の会社

No.	コード	社名	[上場区分]	業種	株価	株式時価総額	営業利益率	自己資本比率	ROIC	EV/EBIT	平均年取
1	7447	ナガイレーベン	東証	卸売業	2,640.0	100,943	29.30	89.70	12.60	19.46	631
2	9543	コマダHLD	東証	卸売業	1,855.0	85,502	25.23	33.71	8.58	12.62	936
3	7575	日本ライフライ	東証	卸売業	1,411.0	120,527	20.16	68.54	15.94	11.69	843
4	8117	中央自動車工業	東証2部	卸売業	2,137.0	42,782	19.36	81.41	19.56	6.76	783
5	3045	カワサキ	東証2部	卸売業	941.0	2,729	18.34	61.72	5.35	11.80	349
6	3076	あいHLD	東証	卸売業	1,600.0	90,544	16.48	78.43	21.82	8.24	552
7	7689	コパ・コーポ	東証マザーズ	卸売業	4,440.0	12,076	15.38	62.39	62.60	13.05	602
8	9986	蔵王産業	東証	卸売業	1,420.0	8,897	14.41	86.12	12.83	2.73	-
9	2763	エフティG	ジャスダック	卸売業	1,288.0	42,841	13.63	47.09	26.51	7.08	570
10	3150	グリムス	ジャスダック	卸売業	3,005.0	34,394	13.60	59.39	47.20	15.20	-
11	7488	ヤガミ	名証	卸売業	1,678.0	8,893	13.07	75.02	10.89	3.77	-
12	7458	第一興商	東証	卸売業	3,295.0	188,586	13.03	74.03	14.19	8.14	600
13	7476	アズワン	東証	卸売業	11,730.0	242,671	12.15	69.15	11.44	27.83	622
14	3559	ピーバンドット	東証	卸売業	977.0	4,396	11.58	77.98	54.05	13.80	600

会社四季報CD-ROM版のスクリーニング結果。株価などは6月26日終値